

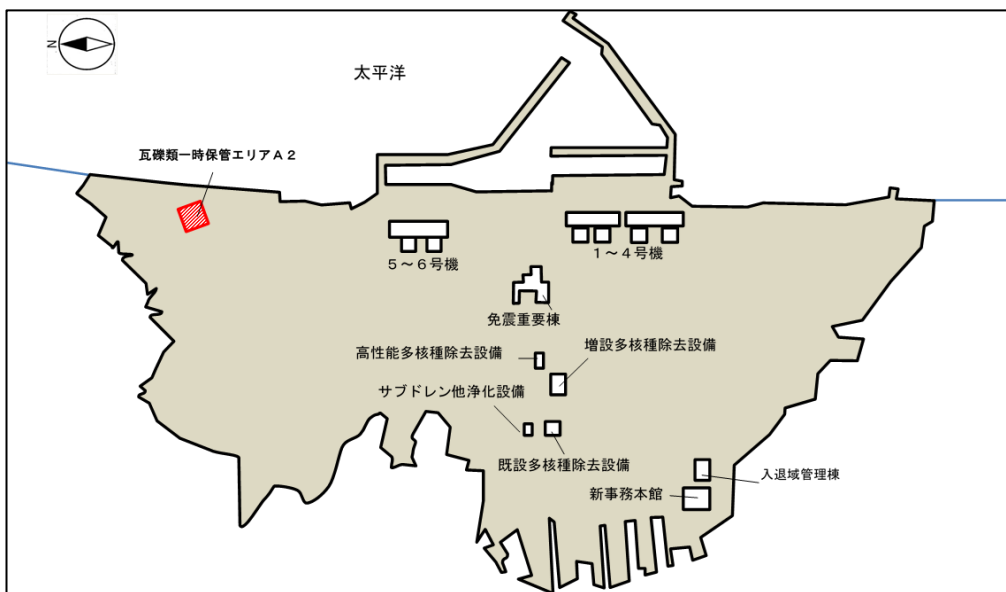
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年10月19日（水）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアA2
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアA2の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災以降、30mSv/h以下の瓦礫類を一時保管するためのエリアとして運用されていた瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）A2は、同エリアに設置されたテントハウス内で保管している高線量の廃棄物を撤去し、低線量率の瓦礫類を保管するためのエリアへの転用が予定されている。今回は、同エリアの転用に向けた作業の進捗状況を確認した。（前回確認：[令和2年8月24日](#)）（図1）（写真1）

- ・テントハウス内に保管されていた瓦礫類の取出しが進んでおり、ハウス内には、取出す際に使用する複数の6 m³コンテナを確認した。（写真2）
- ・テントハウスの近傍には、瓦礫類の取出しに使用している遮へいが施された重機が置かれていた。（写真3）
- ・東京電力では、瓦礫類の取出しが完了した後、年内にはテントハウスの解体作業に移行するとしており、解体完了後は既にハウス解体作業が完了している一時保管エリアA1と同様、アスファルト舗装を行うとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
一時保管エリアA2の状況



(写真2-1)
テントハウス内の状況①
(令和2年8月24日撮影)



(写真2-2)
同左
(令和4年10月19日撮影)



(写真2-3)
テントハウス内の状況②



(写真3)
現場で使用する重機の状況

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。